



恵庭市役所に、交通事故死ゼロ500日達成に伴い、北山雄彦石狩振興局長が横道義孝恵庭副市長と北林優恵庭市交通安全運動推進委員長に感謝状を贈呈しました。恵庭市は昨年1月16日に発生



恵庭市交通事故死ゼロ500日を達成 感謝状を贈呈される



した単独事故で高齢者が亡くなる事案が発生して以来、交通事故による死亡者は出ず、5月30日に交通事故死ゼロ500日が達成されました。

す。恵庭市は1日3万台の車が通る国道36号と基幹道路である道道46号を縦断しているため大変交通量が多く、そのような状況の中で500日を達成できたことは本当に意義深いものがあります。前回は1000日が達成できましたので、今回はまず1000日を目標し、交通事故死のない町づくりをしていきたいです」と感謝と目標を述べました。

同市では交通事故死ゼロに向けた取り組みに、今年4月から自転車ヘルメットの着用率と交通事故死リスクの低減を目的に、市内在住の高齢者を対象とした「恵庭市自転車普及促進モニター事業」を実施。また、5月からは市内在住の小学生を対象に補助金額上限3000円の「恵庭市自転車用ヘルメット購入費助成事業」も実施され、先着100人のところ、想定を超える申請がきたため、助成枠の増加を検討しています。

北林委員長は「500日を達成できて感激です。次は運動や活動など日々の積み重ねの結果として交通事故死ゼロ1000日という数字を残していけたらと思います」と語りました。

(編集 佐々木)

恵庭市の夢創館(島松仲町)で6月8日、ヴァイオリニスト伊藤光湖さんによる「ギャラリーコンサート」が開かれました。恵庭市にゆかりのある彫刻家、鈴木吾郎さんの作品展示にあわせた企画で、彫像やデッサンに囲まれた空間で音楽と芸術の調和を楽しむ催しとなりました。



鈴木氏の作品とヴァイオリンの調べを楽しむ 「ギャラリーコンサート」開催

6月15日まで開催されました。コンサート当日は鈴木さんと親交のある伊藤さんの演奏を聴こうと、多くの来場者が詰めかけました。演奏はシモネッティ作曲「マドリガル」の爽やかな旋律で幕を開け、続いてクライスラー作曲「愛の三部作」と呼ばれている「愛の喜び」

「愛の悲しみ」「美しきロスマリン」「リムスキー・コルサコフ作曲の「熊蜂の飛行」など多彩な楽曲が披露されました。なかでも注目を集めたのは、伊藤さんがパリ滞任時に体験した大雨による屋根裏部屋からの激しい雨漏りの様子を描写したオリジナル曲の「レインドロップスフルツ」。全10曲を通じて、来場者は音楽と彫刻が織りなす芸術の世界に浸っていました。

札幌市から訪れた田中耕子さんは「鈴



木先生の作品に囲まれながら、伊藤さんの素晴らしい演奏を聴けて、とても素敵な時間を過ごせました」と話していました。鈴木さんは「熱意と想いが伝わってくる、素晴らしい演奏でした」と振り返りました。

この日、同大学の青晴海副学長(写真右から2番目)と、同大学院グローバルコミュニケーション研究科1年の野藤颯人(はやと)さん(写真右)が代表として恵庭市社協を訪問。同地区事務局を勤める恵庭市社会福祉協議会の船田清副地区長(写真左から2番目)に目録を手渡しました。

同大学は地震発生を受け、4月上旬から5月まで学内の国際交流センターと教職員スペースに募金箱を設置。国際学部の学生や大学院生、教職

員らが協力して寄付を募りました。青副学長は「ミャンマーで大地震が発生したという報道を見て、私たちが何か支援できることがないだろうかと考え、募金を始めました。今回の取り組みをきっかけに、学生が国内の出来事だけでなく、世界で起きていることを自分のこととして考えるきっかけになれば」と述べ「大きな災害の復旧には長い時間がかかります。そうした中、赤十字社は長期にわたり医療などの支援を続けており、安心して救援金を託すことができます」と話しました。

野藤さんは「この寄付金が遠いミャンマーの地で、一人でも多くの被災者の助けになればうれいす」と語りました。また、船田副地区長は「北海道文教大学の学生と教職員の皆さまには、心を込めて貴重な浄財を集めていただき、非常にありがたいと思います。しっかりと現地へ届け、支援活動に役立てていきます」と謝辞を述べました。

(編集 大谷)



ミャンマー地震被災地へ 北海道文教大学が 救援金を寄付



北海道文教大学(渡部俊弘学長)は6月5日、今年の3月にミャンマー中部のマンドレー近郊で発生した「ミャンマー大地震」の被災地への救援金として、5万円を日本赤十字社北海道支部恵庭市地区を通じて寄付しました。

この日、同大学の青晴海副学長(写真右から2番目)と、同大学院グローバルコミュニケーション研究科1年の野藤颯人(はやと)さん(写真右)が代表として恵庭市社協を訪問。同地区事務局を勤める恵庭市社会福祉協議会の船田清副地区長(写真左から2番目)に目録を手渡しました。

同大学は地震発生を受け、4月上旬から5月まで学内の国際交流センターと教職員スペースに募金箱を設置。国際学部の学生や大学院生、教職

員らが協力して寄付を募りました。青副学長は「ミャンマーで大地震が発生したという報道を見て、私たちが何か支援できることがないだろうかと考え、募金を始めました。今回の取り組みをきっかけに、学生が国内の出来事だけでなく、世界で起きていることを自分のこととして考えるきっかけになれば」と述べ「大きな災害の復旧には長い時間がかかります。そうした中、赤十字社は長期にわたり医療などの支援を続けており、安心して救援金を託すことができます」と話しました。

(編集 大谷)

先週号「まちがい探し」の答え

一切クレームはお受けできません。



●店主 大根 ●店主 おにぎり ●店主前のバナナ 本数 ●看板「各物」 ●男の子 手元 ●男の子 洋服の裾 ●お父さん メガネ ●女の子 手元のバナナ

夏の増改築&リフォームフェア

6/21±22日
open 10:00 close 17:00

建て替え? リフォーム? どちらがいいの?
この取組は 出来るの? 費用は どれくらい?
補助金とか 何をする? 一番お得?

まず何から始めたらいいの?
お悩み全てお応えします!

ご来場者にもれなくプレゼントもご用意!

補助金ラストチャンス! やるなら今!

住宅省エネ 2025年キャンペーン

解体&リノベ 承ります

水廻りコーナー
屋根板金・塗装コーナー
玄関ドア・サッシコーナー
給水・給湯・暖房コーナー
外壁コーナー
車庫・物置コーナー
外構コーナー
クロス・カーテンコーナー

ご相談 お見積 無料です

主催 特定建築業・一級建築士事務所 郷土建設株式会社
創設63年 施工実績 北海道知事許可(特・29)右第01140号北海道知事登録(右)第1054号 北海道知事免許石狩(右)第5947号

■お問い合わせは TEL:0123-32-2828

詳しくはHPへ 郷土建設株式会社

協賛 Panasonic LIXIL YKK AP Takara standard

会場 恵庭市恵み野里2丁目 Frespo

DCM恵庭店 プレスがまみ野

オカモトセルフ オートバックス セブイレブン 恵み野駅